

3. 「皐月蔵（さつきぐら）チャミセ」（江差町・江差歴まち商店街協同組合）

～ いにしえ街道に地域住民の活動・交流拠点オープン ～

■ 江戸末期に建造された蔵が復活

江差町は、北前船により古くから開けた港町で、檜材とニシン取引に関連した問屋、蔵、社寺などが現在も数多く残されている。

江戸時代末期に建造されたと考えられる蔵が、長年放置され、解体の危機にあったが「江差町歴まち商店街協同組合」と、江差町の団体や個人等で組織する「江差町いにしえ資源研究会」が、蔵を活用したまちづくりについて検討してきた。

特に資源が数多く集積している中歌町、姥神町一帯の旧国道沿い地区（通称：いにしえ街道）は「歴史を生かすまちづくり事業のモデル地区」として道から選定され、歴史を活かすまちづくりに取り組んでいる。



所有者から寄贈を受けた「旧日石土蔵」4棟のうち1棟を改修し、平成26年7月、地域住民の活動・交流拠点として、「皐月蔵チャミセ」をオープンした。江差町いにしえ資源研究会が運営している。

■ 地域住民と一体化したまちづくり

「蔵」は、道の地域づくり総合交付金で上下水

道、電気、消防施設等を整備するとともに、トヨタ財団からも助成を受け厨房を整備した。職人や料理人の交流・育成により、他の蔵を利用した出店など新規開業を支援している。

また、町内の歴史的建造物や地域資源、歴史、文化、伝統を活用した勉強会のほか、「蔵」を活用した期間限定の交流カフェ、「いにしえ街道」を拠点に全国から寄贈を受けた170組のひな人形や「ねぶた行灯」の展示、多くの一般町民も参加した「花嫁行列」などのイベントの開催などに取り組んでいる。

このような地元住民と一体化したまちづくりの活動が評価され、平成26年度には「手づくり郷土賞」（国土交通省）に輝いた。

■ 今後の展開

商店街では、滞在型観光推進の隘路となっているホテル・旅館不足を解決するため、商店街の空き店舗を使った宿泊施設の検討を進めるとともに、移住者を積極的に受け入れ、交流人口を増やしていきたいと、今後の意気込みを話していた。



照会先

（運営主体等）

■江差町歴まち商店街協同組合

檜山郡江差町字津花町 42

TEL 0139-52-0626

HP (<http://www.esashi.sakura.ne.jp/>)